

庁 議 録

| | | | | | | | | |
|--------------------|----------------|---|----------|-----------|---|----|--------|---|
| 招集年月日 | 令和3年1月14日（木） | | | | | | | |
| 開会時刻 | 午前9時30分 | 閉会時刻 | 午前10時28分 | | | | | |
| 開催場所 | 401・402 多目的会議室 | | | | | | | |
| 出席の状況（○出席者、代は代理出席） | | | | | | | | |
| 1 | 市長 | ○ | 2 | 副市長 | ○ | 3 | 教育長 | ○ |
| 4 | 総務部長 | ○ | 5 | 地域振興対策政策監 | ○ | 6 | 市長直轄理事 | ○ |
| 7 | 財務部長 | ○ | 8 | 市民生活部長 | ○ | 9 | 健康福祉部長 | ○ |
| 10 | 会計管理者 | ○ | 11 | 教育部長 | ○ | 12 | こども部長 | ○ |
| 13 | 産業部長 | ○ | 14 | 建設部長 | ○ | 15 | 上下水道部長 | ○ |
| 16 | 議会事務局長 | 代 | | | | | | |
| 代理出席者 | | 議会事務局次長 | | | | | | |
| 職務のため出席した者 | | 伊達総合支所長、梁川総合支所副総合支所長、保原総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長、健康対策担当参事、都市整備担当参事、行政委員会事務局長、農業委員会農地係長、人事課職員厚生係長、総合政策課長、秘書広報課長、総務課長 | | | | | | |
| 案件説明のため出席した者 | | | | | | | | |
| 付議事案 協議事項 | | <p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 令和3年伊達市議会定例会（3月）について 【総務部】</p> <p>(2) 令和3年度伊達市行政組織の見直しについて 【総務部】</p> <p>3. 報告</p> <p>(1) 伊達市地域おこし支援員・復興支援員の活動報告会について 【地域振興対策室】</p> <p>(2) 県立保原高等学校商業科「地域連携授業」活動報告会について 【地域振興対策室】</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定 (1月下旬)</p> <p>(2) その他</p> <p>5. 閉会</p> | | | | | | |

会議の経過・結果

1. 開会

2. 議事

- (1) 令和3年伊達市議会定例会（3月）について
総務部長が資料に基づき説明した。
- (2) 令和3年度伊達市行政組織の見直しについて
総務部長が資料に基づき説明した。

3. 報告

- (1) 伊達市地域おこし支援員・復興支援員の活動報告会について
地域振興対策政策監が資料に基づき説明した。
- (2) 県立保原高等学校商業科「地域連携授業」活動報告会について
地域振興対策政策監が資料に基づき説明した。

4. その他

- (1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定
- (2) その他

- ・ 財務部長から予算編成等については当初予算、3月補正及びコロナ対策関連の1月補正が同時進行となっている状況であることから、編成業務において間違いがないよう依頼した。また、機構改革に伴う事務事業の予算科目の最終調整について依頼した。
- ・ 市長直轄理事から12月に開催した政策調整会議について、社会体育施設の在り方について協議したことを報告した。

【市長】

現在リモートワークを実施しているが、今後リモートワークが日常の形になる可能性も想定しておく必要がある。行政としても世の中の動きを見据えてデジタル化を考えていかなければならない。デジタル化することにより、業務の効率化、市民へのサービス向上が見込まれることから、行政もしっかり勉強していくべきと考えている。

30年勤続表彰の皆さんに、「市民の信頼や信用を得るためには、説明責任と透明性が重要である」という話をした。お役所言葉の使用や丁寧過ぎる文章により、逆に、市民にとって分かりづらい内容となっている場合がある。重要なのは、市民目線で「わかり易く」、そして「丁寧に」に伝えることである。

また、「正確に」伝えることも「説明責任と透明性」の観点では大事である。説明の食い違いが一番信用を失う行為となるので、持っている情報を正確に伝え

ることも意識してほしい。

令和3年度も新型コロナウイルスの対応やこれから動き出す大きな事業などで、市民の皆さんにお願いする事や、理解を得なければならない事がたくさん出てくる。市民の理解というのは、行政にとってとても重要なことであるので、「説明責任と透明性」をしっかりと考え、業務を行ってほしい。